

農業用ダムの貯水状況調査 【大分県集計】

(令和5年10月2日 12:00 現在)

農村基盤整備課 水利整備班

都道府県名	管内	水系名	ダム名	有効貯水量 (千m3)	受益面積(ha)		管理者名	現貯水量 (千m3)	貯水率 (%)	前回調査との比較		平成(H25-R4)との比較		備考
					うち水田	9月15日時点 貯水率(%)				9月15日時点 との増減(%)	平成同時期 貯水率(%)	平成比(%)		
	中部	大野川	石場ダム	2,154	948.0		野津土地改良区	1,974	91.6	100.0	△ 8.4	94.9	96.6	
	上流	大野川	大谷ダム	1,500	555.0	555.0	荻柏原土地改良区	750	91.5	100.0	△ 8.5	93.9	97.4	
		大野川	大蘇ダム	3,890	1,865.0	767.0	大野川上流地域維持管理協議会	3,521	81.9	93.0	△ 11.1	—	—	
	大野	大野川	師田原ダム	2,912	1,160.0	284.0	大野町土地改良区	2,279	78.3	84.7	△ 6.4	77.3	101.3	
	北部	桂川	並石ダム	1,429	670.0	255.0	並石土地改良区	940	65.8	80.5	△ 14.7	98.0	67.1	
		駅館川	日出生ダム	7,160	3,666.5	2,479.9	駅館川土地改良区連合	3,436	48.0	61.3	△ 13.3	59.7	80.4	
		駅館川	日指ダム	4,510	2,761.3	2,190.5	駅館川土地改良区連合	3,323	73.7	78.3	△ 4.6	79.8	92.3	
		駅館川	香下ダム	2,020	477.0	272.7	駅館川土地改良区連合	1,660	82.2	84.9	△ 2.7	79.4	103.4	
		駅館川	深見ダム	1,250	776.0	776.0	宇佐市	471	37.7	56.4	△ 18.7	71.1	53.0	
		合計		9										

※ 平成貯水量はH25年度～令和4年度の貯水量より算出、国報告は過去蓄積データ(ダムごと)全てより算出しているため、平成値は異なる。

※ 大谷ダムは堆積量が680千m3程度あるため、貯水率については、堆砂量を考慮し、農業用水として利用可能な820千m3に対して算定している。

水利貯水量

大分県	北部	山国川	耶馬溪ダム	9,800			国土交通省	5,783	59.0	81.9	△ 22.9	90.3	65.4	
-----	----	-----	-------	-------	--	--	-------	-------	------	------	--------	------	------	--